

中部中学校だより

きずな

令和8年9月30日発行
第15号
亀山市立中部中学校
亀山市田村町75番地
☎：82-2101
文責：平野



2年生の職場体験学習が実施されました！

9月9日～11日の三日間、2年生の職場体験学習が実施されました。中部中学校では、市内69カ所の事業所でお世話になり、開催されました。亀山中学校、関中学校との合同開催で、市内全体では168の事業所から本事業へのご協力をいただきました。この活動は、生徒が各事業所で働く方々とのかわりを通して、実際にその仕事を体験し、働くことの意義や目的の理解、すすんで働こうとする意欲や態度を育むことをねらいとして実施しています。また、生徒にとっては、自己の理解を深め、異世代間も含めたコミュニケーション能力の向上を図り、社会的なルールやマナー、地域社会への愛着や誇りを持つことにもつながる学習活動となっています。小学校での職場体験学習では、来年度入学する6年生の教室で児童に中部中学校についてパワーポイントを使って説明した後、児童からの質問に丁寧に答えていました。また、ある飲食店での職場体験学習では、接客等の業務のほか、お店の周りの除草作業をしっかりと取り組む姿が見られました。各事業所の皆様からは丁寧なご支援・ご指導をいただきました。2年生のみなさんにおいては、この体験を通じて学校では学ぶことのできない様々なことを学習することができたのではないかと思います。職場体験学習で得られたことを事後学習で交流したり、深め合ったりしながら、今後の活動に大きく活かしてほしいと思います。そして、大変お忙しい中、準備・受け入れ・ご指導をしていただいた事業所の皆様への感謝の気持ちを大切にしてほしいと思います。

職場体験学習を支えていただいた地域の事業所の皆様におかれましては、事前打ち合わせから当日の体験においてたいへんお世話になり本当にありがとうございました。そして、子どもたちに対して、温かく時には厳しくご支援・ご指導いただきましたことに感謝申し上げます。毎年、職場体験学習後に子どもたちの成長した姿をみるたびに、この学習の大切さを実感しております。地域の事業所様におかれましては、今後とも、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

中部中学校の卒業生による教育実習が行われています！

9月28日（月）より、中部中学校の卒業生による教育実習が行われています。以下に実習生の自己紹介を掲載します。

・名 前 松本 和花 ・担当クラス 2年F組 ・担当教科 英 語

<中学校時代の思い出、生徒の皆さんへ一言>

- ・修学旅行で行った沖縄がすごく思い出に残っています。文化祭や体育祭など、学校行事が大好きでした。
3週間よろしく願いいたします！

原嶋 凜さんが中部中学校を訪問されました！

中部中学校を2023年3月に卒業され、現在俳優として活躍中の原嶋 凜さんが8月30日（日）、NHKの夕方ニュース番組「まるっとみえ！」のロケで中部中学校を訪問されました。原嶋さんは朝の連続テレビ小説「風、薫る」に主人公の看護婦養成所の同級生、工藤トメ役として出演されました。8月30日の撮影の日には、原嶋さんが中学校時代に所属していた卓球部の同級生や顧問の先生、中学校3年生や小学校6年生の時のクラスの担任先生たちが集まり当時の思い出を振り返ってみえました。「つながる連絡」でもご案内いたしました。原嶋さんのインタビューや中部中学校、亀山市の訪問の様子は9月11日、16日両日に渡って放送されました。

インタビューの中で原嶋さんが大切にしている言葉として、「百聞は一見に如かず」（「百回人から聞くより、一回自分で見ることのほうが大切である」）をこの言葉には続きがあるとして紹介されてみえました。私自身もこの続きを調べてみました。

「百聞は一見に如かず」（「百回人から聞くより、一回自分で見ることのほうが大切である」）、「百見は一考に如かず」（「百回見るより、一回自分で考えることのほうが大切である」）、「百考は一行に如かず」（「百回考えるより、一回自分で行動することのほうが大切である」）、「百行は一効（果）に如かず」（「百回行動するより、一回自分で結果や成果を出すことのほうが大切である」）、「百効（果）は一幸に如かず」

（「百回結果や成果を出すことより、一回自分の幸せにつながることのほうが大切である」）、「百幸は一皇に如かず」（「百回幸せにつながるより、一回自分がみんなのために行動することのほうが大切である」）。原嶋さんは、最後の「百幸は一皇に如かず」に触れ、「私の演技を見たことを通じて、見た人が考えたり、行動できたり、選択できることで、人を幸せにできるようにしたい」と語ってみえました。

周りの人を大切（幸せ）にするためには、自分のことを大切にしなければならない。そのためには、自分自身が、物事をみて、考え、判断し、行動し、成果を出す。そんな生き方、考え方を原嶋さんの言葉から学ばせていただいたような気がしました。